

150年前、日本初の鉄道が港区を走った！

現在、日本の鉄道は性能、そして運行の正確さで世界でも高い評価を受けています。日本で鉄道が正式開業したのは今からちょうど150年前となる、1872年10月14日のことでした。

場所は新橋と横浜の間。つまり、港区は日本の鉄道発祥の地なのです。当時は、人力車や飛脚の時代であり、煙を吐きながら走る蒸

気機関車は見たこともない驚異的な存在でした。それだけに反対も多く、鉄道の建設は困難を極めました。その一例が高輪海岸沿いの陸地ルート供用における兵部省（のちの陸軍省・海軍省）の反対であり、日本初の鉄道は海の上に築き、そこに線路を敷設することになりました。

幾多の困難にもめげず、文明開化をいち早

く実現すべく奔走した人々の努力によって、我々の生活に欠かせない鉄道が誕生し、その後、現在に至るまで発展し続けています。

今回の「港から」は高輪築堤や、その建設の立役者、偉人・大隈重信が生まれ育った佐賀県を特集した、鉄道開業150年特別号としてお届けします。



東京品川海辺蒸気車鉄道之真景（三代歌川広重）
港区立郷土歴史館所蔵

現在の高輪付近を通る鉄道を描いた錦絵（浮世絵）です。ルートは現在とほぼ同じですが、海岸線は今よりも内陸側にありました。線路が海上を通っているのは、陸地のルートは用地取得が難航したからです。それでも海上に築き、鉄道を開通させました。



当時の姿が現代に

高輪ゲートウェイ駅周辺の開発現場から発掘されたのが開業当時の築堤、つまり線路の跡です。左の錦絵と比べても、ほぼ同じであることがわかります。

港区立郷土歴史館所蔵

港区から全国の魅力を発信！

NO.12

港区全国連携情報誌

港から

mi na to ka ra

鉄道開業150年 特別号



「港から」最新号は区役所1階や各地区総合支所で配布しています。
←バックナンバーもこちらから！



壺侍 Tsubozamurai 壺にゃん Tsubonyan

港区と佐賀県の意外なつながり
ぜひ来てね！

佐賀県観光PRキャラクター



【access】

飛行機 → 羽田空港～佐賀空港 1時間45分
県内の移動はレンタカーも便利です。令和5年3月31日まで、佐賀空港の到着便を利用された方を対象に最初の24時間が1,000円となるレンタカーキャンペーンを実施しています。

【data】

佐賀県 SAGA prefecture
面積：2,440.68km² 人口：801,250人
(令和4年7月1日現在)



佐賀県観光情報ポータルサイト「あそぼーさが」 ↑

鉄道発祥の地 港区と佐賀県との縁

高輪築堤を佐賀県で再現

(佐賀県立博物館：佐賀市内1-15-23 ☎0952-24-3947)

港区で出土した高輪築堤の一部は、佐賀県立博物館に再現展示されています。鉄道建設を押し進め、高輪築堤の建設を英断した大隈重信は佐賀の出身であり、佐賀の地でも大隈の偉業と志を発信することに大きな意味があることから、石材の移設が実現しました。高輪築堤の発見が港区と佐賀県の両者を強く結びつけました。



写真提供：佐賀県



写真提供：佐賀県

高輪築堤が繋いだ港区との関係と佐賀県の魅力

【インタビュー】

佐賀県 **山口祥義** 知事

やまぐち よしのり



—— 港区と佐賀県との結びつきでのトピックはやはり、高輪築堤だと思います。

「鉄道開業150年の前々年に、いつも使っている山手線・京浜東北線の下から高輪築堤の遺構が出てくるとは思っていませんでした。佐賀の偉人、大隈重信が日本初の鉄道をつくっただけに感無量でした。大隈が港区と結びつけてくれたのかなとも思います。しかも大隈の100回忌の節目で、佐賀県は「大隈重信100年アカデミア」という大隈の志と偉業に光を当てるプロジェクトを実施していたタイミングということもあって、とても運命な出来事であると感じました」

—— 移設された築堤も見せていただきました。「港区でも現地保存が決まっていますが、現地保存されない一部を佐賀に移設し、広く大隈の偉業を発信したかったので、実現した時

はとてもうれしかったです」

—— そのほかにも結びつきはありますか。「幕末、佐賀藩は反射炉を建造したり、「精煉方」という理化学研究所を設置して蒸気機関の研究をするなど、その先進的な科学技術力は国内で抜きん出ていました。鉄製大砲や実用蒸気船を他に先駆けて作ったのも佐賀藩です。江戸湾防衛強化のため、お台場に置かれた鉄製大砲も佐賀製でしたが、これは当時、国内で鉄製大砲を製造できたのが佐賀藩だけだったからです。これも港区とのご縁を感じます。明治維新後の東京という街の整備も東京駅や日銀本店を設計した辰野金吾など、たくさんの佐賀県出身者が貢献しています」

—— 今もその精神が息づいている気がします。「港区には情報発信拠点として『サガプライズ!』を設けており、アニメやゲーム、企業

とのコラボレーションを通じて佐賀県を全国に向けて情報発信しています。スクウェア・エニックスの「サガ」シリーズや「かいけつゾロリ」とのコラボなど、これまでに33のプロジェクトを積み重ね、最近は若い人たちに佐賀県を話題にしていただけが増えてきました。また、地元の企業や団体にも「こうい風にアピールすればいいんだ」という気付きにつながる取組になってきていると思います」

—— 西九州新幹線が開通したことでどのような効果を期待していますか? 「武雄温泉駅から長崎駅まで、最速23分で行くことができるので、移動時間が短縮された分、現地ではスローな旅を楽しんでもらいたいと思います。武雄温泉、嬉野温泉、古湯温泉など県内温泉の異なる湯の味わいを楽しん

でほしいです。また、嬉野市の風景や茶畑の雰囲気を楽しみながら「天茶台」などで嬉野茶を味わう特別な体験、ティーツーリズムも人気です」

—— さらに、最近の佐賀のオススメスポットはありますか? 「肥前名護屋城ですね。豊臣秀吉が文禄・慶長の役の拠点として構えた城で、徳川家康や伊達政宗などの名だたる武将をはじめ、日本中から20万人を超える人々が集まり、7年もの間文化の交流を行ったことで、その後の日本文化発展のはじまりの地にもなった場所です。その栄えていた文化のひとつが茶道。豊臣秀吉が作らせ、名護屋城へ運び使用していた『黄金の茶室』を当時の史料に基づいて復元しました。実際に中でお茶を楽しむのは圧巻の体験です」

見てよし、食べてよし
ぜひ来てください!



—— 有明海沿いも魅力的なスポットですね。「西九州新幹線開業と同時に運行が開始される観光列車『ふたつ星4047』が通る鹿島市や太良町は移住希望地としても選ばれる魅力的な地域で、季節によって異なるおいしさを楽しむことができる竹崎カニやカキ小屋などが有名です」

—— 本当に好きですね。最後に、「港から」読者の皆様に一言メッセージをお願いします。「佐賀県には、ここでしか体験できない唯一無二がたくさんあります。港区にいらっしゃる皆さんに特別な旅を楽しんでいただきたいと思います」

開業 西九州新幹線 かもめ

令和4(2022)年9月23日に開業したのが西九州新幹線で、佐賀県の武雄温泉駅と長崎駅を結びます。嬉野温泉駅もできたことから、佐賀県へのアクセス向上だけでなく、県内の人気スポットへの移動もさらに楽になります。「かもめ」の愛称が付けられた車両は、「九州らしいオンリーワンの車両」をコンセプトに和洋折衷、クラシックとモダンが組み合わされた車内デザインです。



写真提供: JR九州



ふたつ星4047

西九州新幹線開業と同時に運行が開始されたのが、佐賀と長崎の海岸沿いを巡る観光列車「ふたつ星4047」。沿線に広がる「海」の“車窓”と「海」がもたらした“地域のおいしいもの”をお楽しみください。

写真提供: JR九州

コラボで情報発信 サガプライズ!

ゲームやアニメ、企業などのコラボレーションを通じて、佐賀県の地域資源の魅力をさらに高めて情報発信するサガプライズ!。「ストリートファイターII」、「かいけつゾロリ」とのコラボや佐賀県の食の魅力を伝える超短尺アニメ「23時の佐賀飯」など、発想は自由自在です。



©CAPCOM U.S.A., INC. ALL RIGHTS RESERVED



©原ゆたかノボラ社



© SQUARE ENIX CO., LTD. All Rights Reserved. ILLUSTRATION:TOMOMI KOBAYASHI



写真提供: 佐賀市

大隈重信記念館

(佐賀市水ヶ江2-11-11) ☎0952-23-2891
佐賀が生んだ偉人・大隈重信の足跡を知ることができます。敷地内には、生家を保存・公開しています。



武雄温泉楼門

(武雄市武雄町武雄7425) ☎0954-23-2001
東京駅を手掛けた辰野金吾が設計したのが国重要文化財に指定されている武雄温泉楼門。和の中に様々な様式を採り入れていて、内部の見学もできます。

写真提供: 佐賀県観光連盟



嬉野 ティーツーリズム

<https://www.tea-tourism.com/>
茶畑に点在するお茶を愉しむ「茶空間」にて、至宝の一杯を味わう体験。茶を供する茶師は現役の茶農家です。嬉野茶の魅力をお存分に堪能できます。



黄金の茶室

(名護屋城博物館: 唐津市鎮西町名護屋1931-3) ☎0955-82-4905

豊臣秀吉が名護屋城へと運ばせ、もてなしに利用した黄金の茶室が名護屋城博物館に復元・展示されています。

写真提供: 佐賀県



港区全国連携情報誌 港から NO.12

港区と連携・交流のある全国各地の様々な『魅力』や区の『全国連携』に関する取組を発信!

発行: 港区
編集・企画: 企画経営部全国連携推進担当
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
TEL 03-3578-2111 (代)
<https://www.city.minato.tokyo.jp/>

発行番号 2022118-5811

「全国連携の港区」の実現に向けて

区は、互いの地域の発展と住民のより豊かな生活の実現に向け、子どもの交流や環境、防災、商店街振興などさまざまな分野において、自治体間だけでなく、住民間や産業界など、幅広く全国各地との連携を推進しています。

全国200以上の自治体と連携

- ・全国連携マルシェ in 芝浦
- ・岐阜県郡上市での田舎夏休み体験教室
- ・区内公衆浴場での全国各地の温泉体験イベントなど

日本初の鉄道をつくった大隈重信の功績をめぐるスタンプラリー

令和4年10月7日(金)から10月30日(日)まで、佐賀が輩出した偉人・大隈重信の功績をめぐるスタンプラリーを開催。港区立郷土歴史館など、都内4か所でスタンプを集めると、鉄道開業当時の硬券切符レプリカなどをプレゼント!



港区民限定 PRESENT

海の恵み「SAGASU 佐賀一番摘み」

「佐賀海苔」は生産量・販売額ともに日本一を誇ります。上質な一番摘みの海苔を食べやすいサイズにパックしたのが「SAGASU佐賀一番摘み」です。佐賀空港内にある観光案内所(営業時間8:30~18:00)で先着10名にプレゼントします。※運転免許証等、港区民と分かる書類等の提示が必要です。期限は令和4年12月31日まで





歴史 佐賀城本丸歴史館

(佐賀市内2-18-1) ☎0952-41-7550

江戸時代の本丸御殿を復元

天保9年(1838年)に再建された佐賀城本丸御殿を復元したもの。「幕末維新期の佐賀」をテーマに展示しています。城内には再建当時の「鯨の門」もあります。



参拝 祐徳稲荷神社

(鹿島市古枝乙1855) ☎0954-62-2151

日本三大稲荷のひとつ

本殿は山の中腹にあって境内からの眺めは壮大。参道を奥の院まで上れば、山々や有明海などが一望できます。写真提供：佐賀県観光連盟



特産 肥前吉田焼

(肥前吉田焼窯元会館：嬉野市嬉野町大字吉田丁4525-1) ☎0954-43-9411

お馴染みのデザインをアレンジ

佐賀県と言えば焼き物。青地に白の水玉模様が懐かしい肥前吉田焼も古くからある焼き物のひとつです。窯元見学や絵付け体験等ができます。



キーワードで巡る まだある佐賀県の魅力スポット



観光 有明海の干潟

(大魚神社の海中鳥居 藤津郡太良町多良1874-9先)

広大な干潟は絶景!

県の南側に広がる有明海は干潟で有名で、海苔やムツゴロウなどがお馴染みです。太良町には神秘的な大魚神社の海中鳥居があります。



写真提供：佐賀県観光連盟



文化 武雄市図書館・歴史資料館

(武雄市武雄町大字武雄5304-1) ☎0954-20-0222

新しい形の図書館

書店やカフェを併設した居心地の良い図書館。イベントも積極的に行っていて、自由な本の楽しみ方を提案しています。



Photo by Nacasa & Partners



グルメ HAMA BAR

(鹿島市浜町930-2) ☎0954-60-4160

駅で日本酒が楽しめるバー!?

場所は駅舎の中。市内にある5蔵の日本酒と地元の酒の肴が楽しめます。観光案内所もあって地元の情報を提供しています。



佐賀県で見つけた なにコレ!?



残る8つ?

武雄温泉楼門内の4つの干支。設計者の辰野金吾は東京駅も手がけており、そちらは8つの干支が。2カ所合わせて12支になるんです。



その数日本一

佐賀市内には恵比須さんが840体以上も存在! 理由は長崎街道沿いに商家が多かったなど諸説あります。

港区では、鉄道開業150年の節目に 様々な取組を通じて、連携自治体の魅力を発信!

10月14日・15日

新橋SL広場鉄道フェスタ ~鉄道開通150年~

鉄道開通150年を祝して、全国の駅弁や鉄道グッズの販売、区内小中学生によるパフォーマンス、区の連携自治体物産展など、地域や関係団体が連携したイベントを開催!



10月16日

高輪地区まつり feat. Takanawa Gateway Fest 2022

高輪の地で賑わいを創出し、地域の魅力を発信するイベントを、JR東日本グループ、近隣の町会・自治会、連携自治体で開催!



区役所でもイベントなどを開催



港区役所本庁舎では、ローソンや職員食堂と連携し、鉄道にゆかりのある自治体の魅力を発信するほか、ローソンでは特産品の物産展を開催!

新橋SLビール 鉄道150年版にリニューアル

株式会社日テレ7と連携し、福島県いわき市の米を原材料にして誕生した新橋SLビールを、鉄道150年を記念して、新たにリニューアル!



「鉄道発祥の地」港区 ~SLにまつわるトリビア~

このSLは終戦直前に作られて姫路機関区の所属で中国地方を中心に活躍しました。鉄道開業100年の際に譲り受けられるSLを探したところ、このSLが見つかり、縁があって新橋へとやってきました。

鉄道開業100年を記念し、C11型蒸気機関車が新橋駅前設置されました。(昭和47年撮影)

